

献血のお願い

2月26日(土)

10:00~12:00 / 13:30~16:00

武蔵小山駅前ロータリー

協賛：公益社団法人東京青年会議所 品川区委員会

献血の参加基準

献血所要時間：40分程度(混雑時を除く)
※新型コロナウイルス感染症対策の為、混雑時は入場制限を行います。
予めご了承くださいませいよう、お願いいたします。

種類	400mL献血	200mL献血(※2)
年齢(※)	男性：17~69歳(※1) 女性：18~69歳(※1)	16~69歳(※1)
体重	男女とも50kg以上	男性：45kg以上 女性：40kg以上

※1：65歳以上の方の献血については、健康を考慮し、60~64歳の間に献血経験がある方に限らせていただきます。
※2：200mL献血については、当日必要な分が確保できた際に、受付を終了する場合があります。

ご参加前の確認事項

下記該当項目がある方はご参加いただけません場合があります。ご不明な点は受付職員までお尋ねくださいませ。

- ① 3日以内に薬を飲まれている方(当日服用していても大丈夫な薬もあります)
- ② 3日以内に歯科治療された方(歯石除去含む)
- ③ 直近のお食事を2食以上摂られていない方、睡眠時間が4時間以内の方
- ④ 海外からご帰国後4週間以内の方
- ⑤ 1980年以降、欧州・サウジアラビアに一定期間滞在された方
- ⑥ 1980年~1996年まで31日以上英国にご滞在歴のある方
- ⑦ 臓器移植・輸血歴のある方、ヒト由来プラセンタ注射薬の使用経験がある方

★当日服用でも献血OKのお薬★

- 尿酸値を下げる薬
- 血圧を下げる薬
- 高脂血症薬
- 花粉症の薬

※風邪薬、痛み止めなどは当日不可です※

**新型コロナワクチン接種後の献血は
接種後48時間を経過してから行っていただくようお願いしています。**

200mL献血について

日本赤十字社では、輸血を受ける患者さんの副作用リスクの低い
400mL献血をお願いしています。

医療機関からの血液製剤の要請の95%は400mL献血由来となっているため、
200mL献血については、必要分確保でき次第、受付を終了します。



患者さんに800mLの輸血をする場合、
200mL献血×4人分より、
400mL献血×2人分の方が、
患者さんの副作用リスクが下がる、
ということが理由です。



* 献血にご協力いただいている皆様に知っていただきたいこと *

Q.なぜ、献血が必要なのか？

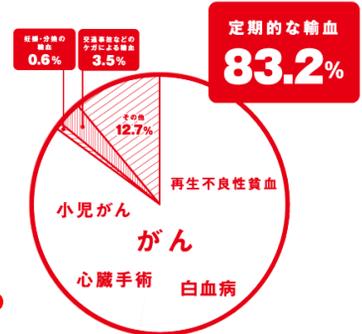
献血した血液の80%以上は、
ガンや白血病の治療のために**毎日**使われているからです。

輸血を必要とする患者さんは、**1日平均約3,000人**。
そのために必要な献血者数は、**1日あたり13,000人**。

輸血用血液製剤は、がんや白血病、再生不良性貧血などの治療のために、定期的に輸血を必要とする患者さんにその大部分が使用されています。(1日平均約3000人)
日本では、輸血用血液製剤は、すべて皆様からの『**献血=ボランティア**』で成り立っています。
皆様お一人お一人の善意によって、患者さんは救われています。

現在、日本人の**2人に1人はガンにかかる**と言われてます。
いつか、ご自身や身近な方がガンの治療で輸血を必要とする時が来るかもしれません。

『**献血**』も『**輸血**』も、決して他人事ではないのです。



Q.日本赤十字社が、いつも献血をお願いしているのは、なぜ？

血液は、
人工的に造ることができない



血液は、
長期保存ができない



新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

【職員の感染症対策の徹底】

- ・出勤前、出勤時の体温測定を徹底しております。
- ・献血受付時や問診時、献血カード更新、返却時に、手指消毒を行っております。

【献血会場の衛生管理の徹底】

- ・献血者の皆さまには、会場入場時に必ず、手指の消毒・体温測定を行います。
37.5度以上の方には原則献血会場への入場をお断りさせていただきます。
- ・献血会場では、換気や各箇所の消毒を徹底して行います。『3密』を避ける会場づくりに努めます。
- ・採血スタッフ(看護師)の使用する手袋は、献血者ごとに交換いたします。

感染症拡大防止に
ご協力ください



医療関係機関として適切な感染症対策を行います。どうか献血へのご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

* 献血と骨髄バンクドナー登録について *

骨髄バンクドナー登録（以下、ドナー登録）ご希望の方は、
献血も併せてお願いしております。

ドナー登録のみの希望者が多数の場合、献血の運営が
滞る可能性があるため、コロナ禍での献血者確保のためにも、
献血とドナー登録は併せてのお願いとさせていただいておりますので、
ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。

* 骨髄バンクドナー登録の流れ *



J M D P
日本骨髄バンク

Illustration Dick Bruna © copyright Mercis bv,1975
www.miffy.com



二次元コードを読み取り後、手順に従って
閲覧・用紙の記入・ご持参いただき、
献血会場までお越してください。

<https://www.jmdp.or.jp/reg/about/flow.html>

献血会場での登録にはお時間をいただくため、
事前に上記の閲覧・用紙の記入をお願いいたします